

第3学年 国語科学習指導計画

1. 単元名 まとまりをとらえて読み、かんそうを話そう

教材名 「こまを楽しむ」 安藤 正樹 (指導時期: 6月中旬)

2. 単元の目標

- ・「段落」について知り、「初め」「中」「終わり」の文章構成や、それぞれの段落の内容を捉えることができる。
- ・大事な言葉や文に注意しながら読むことができる。
- ・文章を読んで考えたことを適切な言葉で発表し合い、一人一人の捉え方の違いに気づくことができる。

3. 指導計画 (全9時間)

	時	おもな学習活動 (第二課題は●)	◎指導上の留意点 ☆評価
一次	1	○言葉遊びや、こまなどの昔遊びをした経験について話し合う。 ○「まとまりを捉えることと、一番遊んでみたいこまを理由をつけて書き、交流する」という学習課題を設定する。 ～『言葉で遊ぼう』の読み取り～	◎簡単な言葉遊びをしたり、こまを見せたりしながら、学習意欲をもたせる。 ☆文章の内容に興味をもっている。
	2	○「言葉で遊ぼう」を通読し、内容の大体を捉える。	◎教科書に線を引きながら、「問い」と「答え」の関係を捉え、内容を整理させる。
	3	○「段落」を知り、「初め」「中」「終わり」を確認する。 ○「問い」と「答え」から、各段落の内容を捉える。 ○「終わり」を読み、感想を交流する。	☆文章の構成を捉え、「問い」と「答え」に着目して各段落の内容を捉えている。
二次	4	～『こまを楽しむ』の読み取り～ ○全文を読み、初発の感想を書く。 ○初発の感想を交流する。 ○学習計画を作り、学習の見通しをもつ。 ○難読語の意味調べをする。	☆初発の感想を交流し、学習の見通しをもっている。 ◎文章の理解のために大事な語句は必ず調べるように提示する。
	5	○「こまを楽しむ」を通読して、全体の構成と内容の大体を捉える。 ●第一の「問い」と第二の「問い」に対する答えを「中」からさがして表にまとめる。	◎形式段落に番号をつけさせ、「初め」「中」「終わり」の構成を捉えさせる。 ◎「問い」に対する「答え」をまとめさせる。 ☆「問い」と「答え」となる「言葉遊びの名前」「言葉遊びの楽しみ方」を捉えている。
	6	○「問い」と「答え」に着目して、各段落の内容を読む ●第三段落からは、「鳴りごま」の他の呼び方と呼ばれる理由を考え、第六段落からは、「曲ごま」のおどろくような所とはどういう所か第六段落から抜き出す。	◎各段落の説明のしかたに着目させる。 ☆文章の構成を捉え、「問い」と「答え」から、文章全体の構成と、段落相互の関係を捉えて読んでいる。 ☆中心となる語や文を捉え、それぞれの段落の内容を確かめている。

	7	○答えの説明の仕方がこまの名前、楽しみ方、特徴の構成で組み立てられていることを確認する。 ●説明のしかたを生かして、自分が作りたいこまについて、説明する。	◎本文の構成にならって、文章を書かせる。 ☆本文のこまの名前、楽しみ方、特徴の構成にならって自分の文章が書けている。
	8	○「終わり」で述べられる内容をまとめる。 ●「回るようす」を楽しむこまと、「回し方」を楽しむこまに分ける。	◎全体のまとめで述べられていることを、本文との関わりの中で捉えさせる。 ☆「回るようす」を楽しむこまと、「回し方」を楽しむこまに分けることができる。
三 次	9	○「こまを楽しむ」の事例の中から、一番遊んでみたいものを選び、理由とともにノートにまとめる。	◎教科書に示されている観点を参考に、適切に理由をまとめさせる。
	10	○一番遊んでみたいこまについて交流し、共通点や相違点をまとめる。	◎グループで交流させ、感想の違いに気づかせる。 ☆交流して、感じ方や考え方の違いに気づいている。 ☆考えたことや思ったことを適切な言葉を用いて表現している。